

2017年4月7日

各位

大日本住友製薬株式会社

非定型抗精神病薬ルラシドンの韓国における提携のお知らせ

大日本住友製薬株式会社(本社:大阪市、社長:多田 正世)は、このほど、Bukwang Pharmaceutical Co., Ltd.(本社:韓国ソウル市、以下「富光薬品」と、当社が創製した非定型抗精神病薬「ルラシドン塩酸塩」(一般名、以下「ルラシドン」)について、韓国を対象国とした開発・販売等の実施権に関するライセンス契約を締結しましたので、お知らせします。

本契約に基づき、当社は富光薬品に対し韓国におけるルラシドンの開発・販売等を行う独占的实施権を許諾します。本契約の対価として、富光薬品は当社に、契約一時金、発売時のマイルストーンおよび販売マイルストーンを支払い、当社は富光薬品にルラシドンの製剤バルクを供給します。富光薬品は今後、韓国においてルラシドンの統合失調症を対象としたブリッジング試験(フェーズ3試験)を行う予定です。

当社は、今後も統合失調症や双極性障害の患者さんの治療選択肢としてルラシドンのグローバル展開の拡大を図ります。

(ご参考)

富光薬品について

富光薬品は、1960年に設立された韓国の製薬会社であり、従業員数は約600名、売上高は薬140億円(2016年3月期決算)です。富光薬品は、2010年10月より、当社が富光薬品に導出した非定型抗精神病薬「ロナセン[®]」(一般名:プロナンセリン)を韓国において販売しています。

ルラシドンについて

ルラシドンは、当社が創製した独自の化学構造を有する非定型抗精神病薬であり、ドパミンD₂、セロトニン5-HT_{2A}、セロトニン5-HT₇受容体に親和性を示し、アンタゴニストとして作用します。セロトニン5-HT_{1A}受容体にはパーシャルアゴニストとして作用します。また、ヒスタミンH₁およびムスカリンM₁受容体に対してはほとんど親和性を示しません。

ルラシドンは、統合失調症を適応症として、米国においては2011年、カナダにおいては2012年、スイスにおいては2013年、デンマーク、ノルウェーおよび英国においては2014年、オランダ、フィンランドおよびオーストラリアにおいては2015年、スウェーデンにおいては2016年より販売されています。

当社は、日本においては統合失調症、双極I型障害うつおよび双極性障害メンテナンスに対する承認取得を目指しフェーズ3試験を実施中であり、中国においては統合失調症を予定適応症とした新薬承認申請中です。また、南米4か国においては第一三共株式会社、台湾においては生達化学製薬股份有限公司、タイ、シンガポールおよび香港においてはDKSH (Thailand) Limited、オーストラリアにおいてはServier Laboratories Australia Pty Ltd.、サウジアラビア、クウェートなど湾岸6か国においてはNewBridge Pharmaceuticals Limitedと提携し、ルラシドンの事業展開を進めています。

以上

○本件に関するお問い合わせ先

大日本住友製薬株式会社 広報・IR担当

(大阪) TEL 06-6203-1407/(東京) TEL 03-5159-3300